

職業安定局

Employment Security Bureau

自分らしく「働く」を実現

仕事を通じて豊かな人生が送れるよう、全国500箇所以上のハローワークを通じて、
①職業紹介、②失業時の所得保障を行う雇用保険制度の運営、
③「働き方改革」の実現に向けた雇用対策を一連的に実施し、
全国的なセーフティネットを提供しています。

部局の所掌分野

職業紹介

ハローワークにおいて、職業紹介・職業相談、求人開拓、職業訓練の受講あっせんを行います。

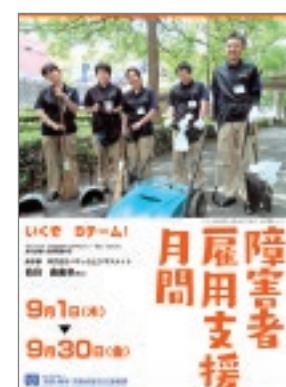


雇用保険

労働者の生活や雇用の安定、就職の促進のために、失業された方や教育訓練を受けられる方、育児休業や介護休業を取得された方に対して、失業等給付を行います。

雇用対策を通じた一億総活躍社会の実現

生産年齢人口が減少していく中、女性、若者、高齢者、障害者、外国人等の多様な働き手の参画を推進し、活躍を支援します。



労働市場の分析

完全失業率、有効求人倍率等の雇用指標の動向を分析し、政策を立案します。

労働市場のルールづくり

企業と働く人のマッチングを民間の力を活かしつつ、適切・円滑に進めるため、民間の行う労働者派遣、職業紹介等に関するルールづくりを行います。

政策紹介 1

同一労働同一賃金の実現に向けて

現在、非正規雇用で働く人は約4割を占めており、正規雇用と比べて雇用が不安定、賃金が低い、能力開発の機会が少ない、といった課題があります。

どの働き方を選択してもしっかりした待遇を受けられるようにし、人々が自分のライフスタイルに合わせて、多様な働き方を自由に選択できるようにすることが重要です。

そのため、政府では、同一労働同一賃金の実現を最大の課題の一つと位置づけ、政府一体となって平成28年末にガイドライン案を策定しました。今後、法制化を検討していきます。



政策紹介 2

企業の生産性向上を支援

今後、労働力人口の減少が見込まれる中で経済成長を図っていくために、個々の労働者が生み出す付加価値(生産性)を高めていくことは、日本が直面している最大の課題です。

厚生労働省では、雇用に関する様々な問題に対応するために、事業主に対して助成金を支給していますが、金融機関と連

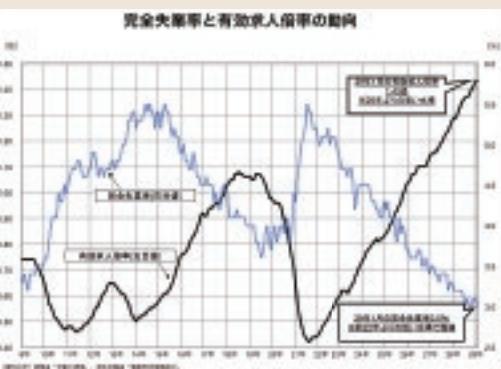


携し、企業における生産性向上の取組を支援するため、生産性を向上させた企業が労働関係助成金を利用する場合、優遇しています。

KEY WORD

雇用情勢の改善

完全失業率は約21年ぶりの低い水準で推移しており、有効求人倍率は25年ぶりの高い水準となっています。また、史上初めて、すべての都道府県で有効求人倍率が1倍を上回りました。このように雇用情勢は着実に改善しています。



政策紹介 3

地方に仕事を創り、どこでも安心して働ける未来へ

現在、人口減少に加えて、若年層が東京圏を始めとする大都市に流出しています。地方の人手不足の深刻化は長年の課題です。

若年層が流出する要因の1つとして、地方は、大都市に比べて労働生産性が低く、それが賃金水準の格差に結びついていることが挙げられます。

こうした地域の課題を解決するため、都道府県の産業施策と連携して、地域における正社員雇用の創出に取り組む「地域活性化雇用創造プロジェクト」を平成28年度に創設しました。

各都道府県の産業政策と一体となった正社員雇用の創出や人材育成の取組を支援することで、地域の雇用の安定や能力開発を推進し、地域の創意を活かした労働生産性の向上や経済的基盤の強化を目指しています。



KEY WORD

マザーズハローワーク～働く母親を支援～

女性のM字カーブ解消は長年の課題です。子育て中の方々の再就職を支援するため、子ども連れで利用しやすい環境を整備したマザーズハローワーク・コーナーで、担当者制のきめ細かな職業相談を行っています。

仕事と子育てが両立しやすい求人を中心に集め、希望に合う仕事を紹介するほか、仕事復帰に役立つセミナーを開催したり、自治体と連携して保育サービス情報を提供するなど、総合的かつ一貫したサービスを提供しています。



【マザーズハローワークでの相談の様子】



【キッズコーナー】